

## 乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 24 年 11 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、今期間、噴気は認められませんでした。

#### ・地震活動（図 2－①、図 3※）

乗鞍岳付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 2－②※③※④※）

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況  
(11 月 19 日 乗鞍高原遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 12 月分）は平成 25 年 1 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2万5千分1地形図』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

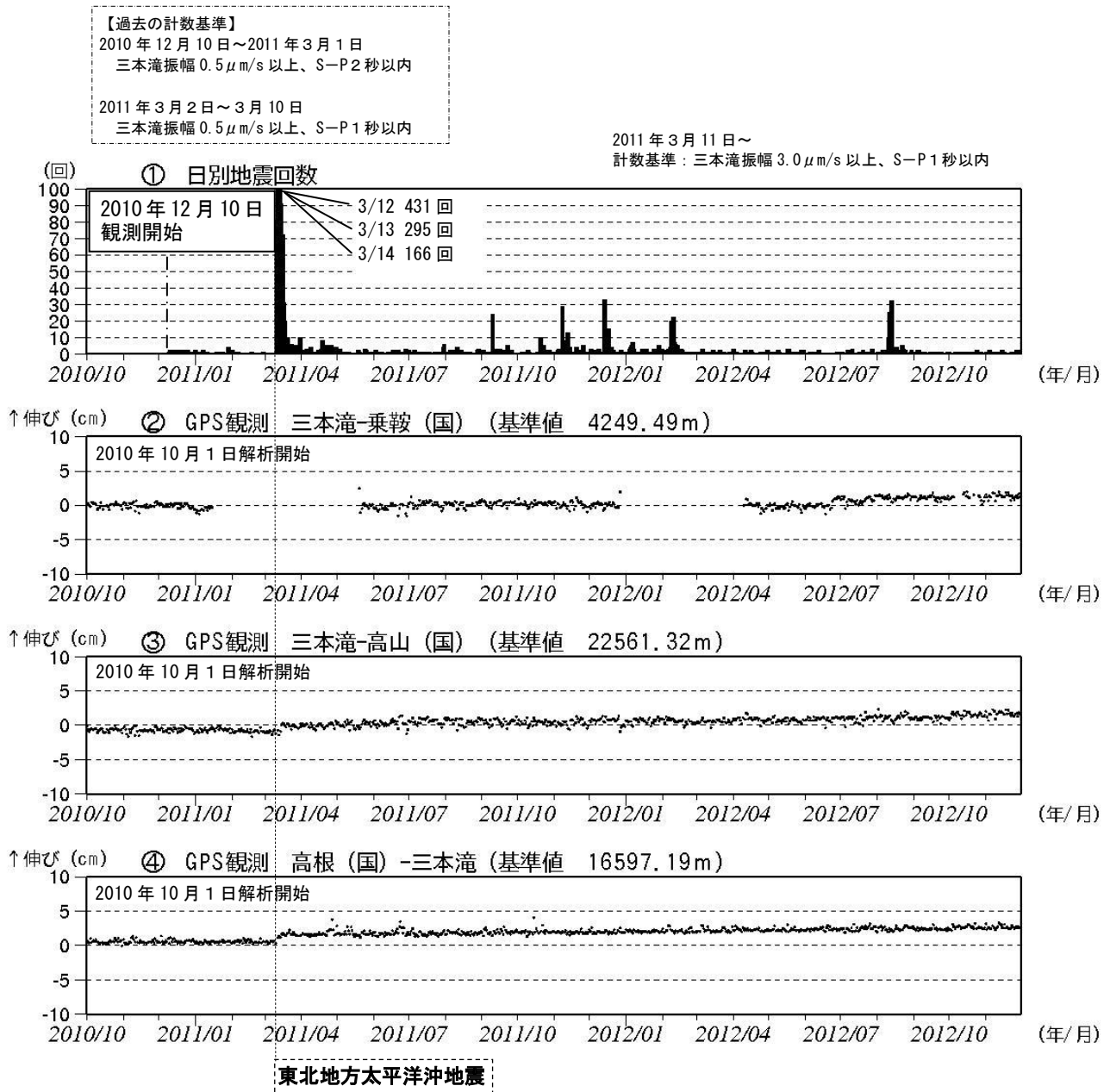


図2 乗鞍岳 火山活動経過図

①：乗鞍岳周辺の日別地震回数 (2010年12月10日～2012年11月30日)

②\*③\*④\*：GPS連続観測による基線長変化 (2010年10月1日～2012年11月30日)

(国)：国土地理院

③\*④\*の基線には、東北地方太平洋沖地震 (2011年3月11日) に伴うステップ状の変化がみられます。

②\*～④\*は図4のGPS基線②～④に対応しています。

②\*グラフの空白部分は欠測を示しています。

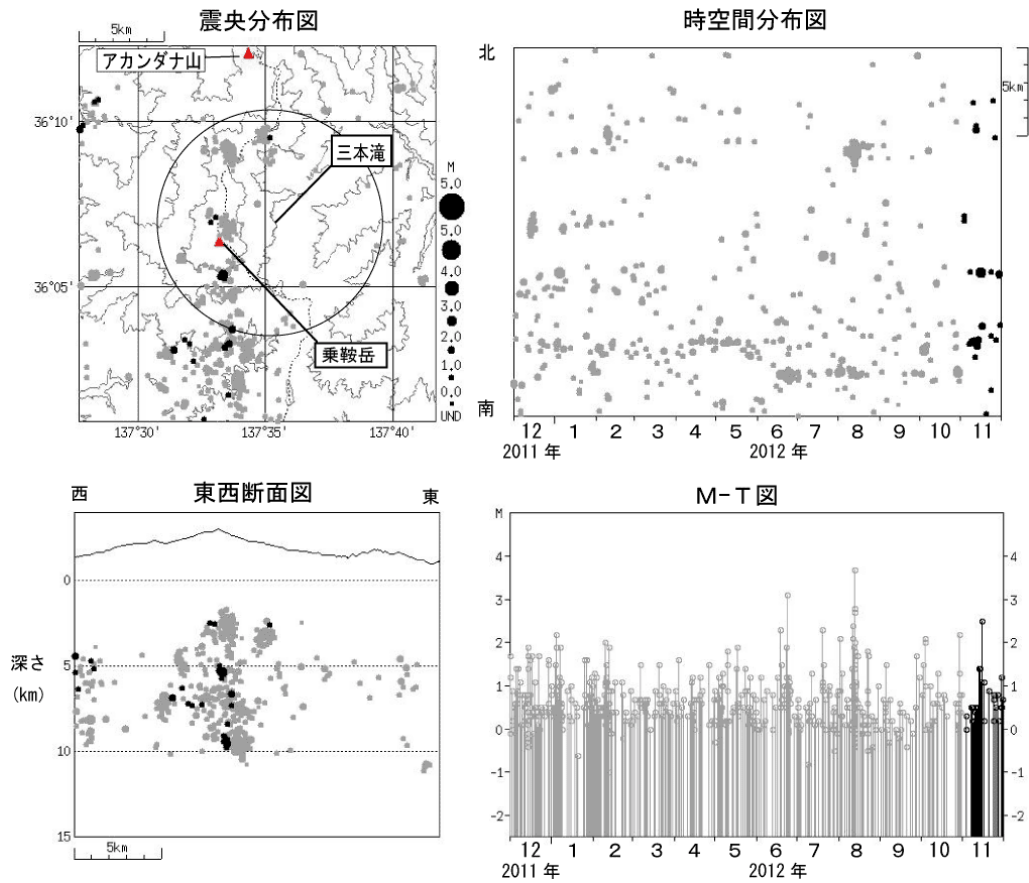
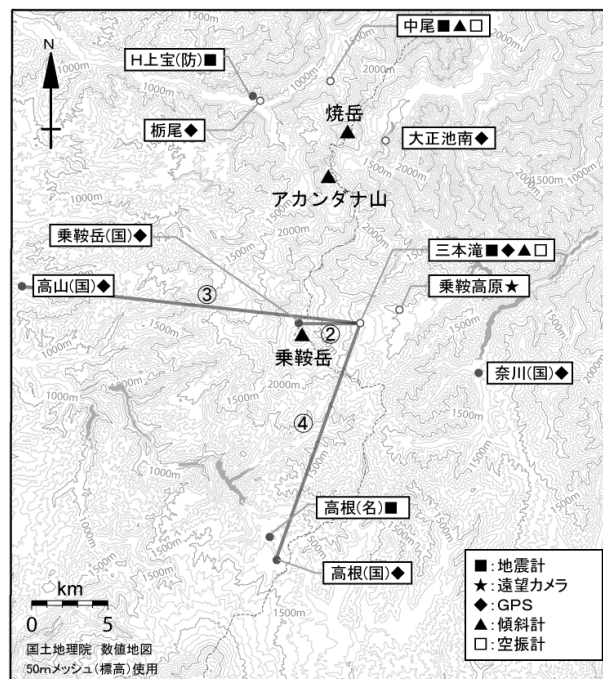


図 3※ 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011年12月～2012年11月)  
 ● : 2011年12月1日～2012年10月31日 ● : 2012年11月1日～11月30日  
 震央分布図中の円は図2の計数対象地震(三本滝でS-P時間1秒以内)のおよその範囲。  
 M(マグニチュード)は地震の規模を表します。  
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国): 国土地理院、(防): 防災科学技術研究所、(名): 名古屋大学

図 4 乗鞍岳 観測点配置  
 GPS 基線②～④は図2の②※～④※に対応しています。